

PAC分析学会第12回京都大会 「新たな飛躍をめざして」

<https://pacanalysis.jimdo.com/>

PAC分析（個人別態度構造分析Personal Attitude Construct Analysis）は内藤哲雄学会会長（前信州大・福島学院大学:社会心理学・臨床心理学）によって発明・開発された新しい研究法です。質的分析と多変量解析（クラスター分析）を組み合わせ、研究者と研究協力者（いわゆる被験者）の対話を重視した、個人の態度構造を明らかにする研究法です。



日時：2018年12月8日(土) 13:00 ~ 17:30
12月9日(日) 9:30 ~ 12:00

会場：立命館大学朱雀キャンパス 2階 203教室 他
京都市中京区西ノ京朱雀町1



大会日程 12月8日 (土)

12:00 理事会 (理事には昼食を用意します)

12:30 受付開始

13:00 開会式 あいさつ

13:05 ① PAC分析実施技法概説 内藤哲雄先生

13:40 ② 内藤哲雄先生デモ&ワークショップ

・事例の背景説明 (立命館大学大学院 菱田)

・デンドログラムをバックにインタビュー

(トイレ休憩) 15分

15:10 ・クラスターの解釈 (命名) のための実施技法

補足説明(10分)

・参加者と一緒にクラスター解釈・命名 (30分)

・当該事例の解釈のポイント など...内藤 (10分)

16:00 総会 30分

16:35 ポスター発表 (同会場) ※自主参加

ポスター 1	「高齢保育士の活用に関する研究Ⅰ」 午来 和子 (福島学院大学) 江幡 芳枝 (日本保健医療大学) 内藤 哲 雄 (明治学院大学)
ポスター2	「高齢保育士の活用に関する研究Ⅱ」 江幡 芳枝 (日本保健医療大学) 午来 和子 (福島学院大学) 内藤 哲 雄 (明治学院大学)
ポスター3	日本人との対人コミュニケーションでの違和感 -地位と性の異同の影響についてスリランカ人が感じるイメージ- 内藤 哲雄 (明治学院大学国際平和研究所)

17:30 終了

17:45 情報交換会

Ca'del Viale Ristorante (カ・デルヴィアール)

会場から徒歩3分 電話075-812-2366

大会日程 12月9日(日)

9:30 口頭発表 ※2会場

9:30~ 1番目発表
10:00~ 2番目発表
10:37~ 3番目発表
11:07~ 4番目発表

移動

11:40 全体会(203教室)

12:00 閉会

備考) 1発表の時間(発表15分・質疑7分・助言5分)
1番と2番、3番と4番の発表入れ替え3分
2番と3番の間に休憩10分

	A分科会(203教室) 助言者 内藤哲雄 先生	B分科会(217教室) 助言者 伊藤 武彦 先生
発表1	<p>教員の教職に対する態度構造の検討 -教職につまずきを抱える若手教員を対象として-</p> <p>○高山瑞己, 青木多寿子 (岡山大学教育学研究科)</p>	<p>PAC分析によるインタビュー・データの質的分析の可能性 -混合クラス担当教師3人の比較から-</p> <p>○坂井菜緒(武蔵野大学), ○中川純子(武蔵野大学), ○長松谷有紀(東海大学), ○服部真子(武蔵野大学)</p>
発表2	<p>進路指導における高校教師の指導方針について -中日比較を通して-</p> <p>○許 暁, 青木 多寿子 (岡山大学教育学研究科)</p>	<p>PAC分析の応用 -集合知からイノベーションのための新しいアイデアを得る-</p> <p>○鮎澤留美子(株式会社インテージ), 藤枝祐子(フリーランス)</p>
発表3	<p>図書を用いたPAC分析の試み: 図書に対する子どもの興味を題材として</p> <p>○三島悠希(筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科, 松村敦(筑波大学 図書館情報メディア系)</p>	<p>PAC分析における重複グループ化法のグループ数最適化手法の検討</p> <p>○徳増 亮弥, 土田義郎(金沢工科大学)</p>
発表4	<p>高齢者の万引きへの対応に関するPAC分析</p> <p>大久保智生(香川大学教育学部)</p>	<p>「普通」をテーマにした発達障害の診断別PAC分析の比較</p> <p>今野博信(学泉舎・室蘭工業大学非常勤講師)</p>

11:40 全体会・まとめ

12:00 閉会